

博士課程前期 2 年の課程（必修科目及び自由聴講科目）

博士課程後期 3 年の課程

医療薬学専攻博士課程（薬学履修課程）

シラバス

授業科目名	分子薬科学特論 I		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 1年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 2年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4単位	
授業概要	分子薬科学全般について基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	分子薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子イメージング特論		科目区分	自由聴講
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC1・2年	
担当教員	薬学研究科教員	単位数	4単位	
授業概要	分子イメージングに関する最新の研究の進展について学び、今後の方向性や創薬への応用研究の方向性を理解することを目的とする。			
到達目標	分子イメージングに関して分子基盤から理解し説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学セミナー I		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 1年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	3単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	分子薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 2年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	3単位	
授業概要	分子薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	課題研究	科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 2年
担当教員	所属分野指導教員	単位数	10 単位
授業概要	薬科学に関する高度な知識をもとに、主体的に課題を発見し、研究を行う。		
到達目標	当該領域を先導する研究を実施し、その成果を発表する。		
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）		
成績評価法	配属された分野の教員が行う。		
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。		
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。		
使用言語	別途、指導教員から指示する。		
その他			

授業科目名	海外研修		科目区分	自由聴講
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC1・2年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	2単位	
授業概要	1週間～3ヶ月程度、海外の大学、研修機関、公共機関等で薬科学に関する実地研修を行う。			
到達目標	本研修を通じて、国際的な環境の下で研究を行い、国際共同研究の進め方、研究内容を社会で実践する方法を習得すると共に体験、理解する。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				



授業科目名	生命薬科学特論 I		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 1年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4単位	
授業概要	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	生命薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学特論Ⅱ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 2年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	4単位	
授業概要	生命薬科学全般に関する基礎から最新の進展まで幅広く学ぶ。			
到達目標	生命薬化学全般に関する様々な事象について、分子的基盤や原理をもとに説明できるようになる。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学セミナー I		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 1年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	3単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				

授業科目名	生命薬科学セミナーⅡ		科目区分	必修
科目ナンバリング	コード一覧参照	配当学年	MC 2年	
担当教員	所属分野指導教員	単位数	3単位	
授業概要	生命薬科学の領域で実施される研究ならびに関連の論文を調査・解析し、評価する。			
到達目標	当該領域の研究者として必要な基本的な知識と課題解決能力を身につける。			
授業方法	講義・演習・実習・体験学習・SGD・PBL・ロールプレイ・e-learning・その他（ ）			
成績評価法	配属された分野の教員が行う。			
教科書・参考書	別途、指導教員から指示する。			
授業時間外学習	別途、指導教員から指示する。			
使用言語	別途、指導教員から指示する。			
その他				